

南アルプス桃源交響楽団

公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団助成事業

第44回

定期演奏会

シベリウス
カレリア組曲

竹内一樹

To-Gen-Kyo / キセキの星 / プレイスペース

ベートーベン

交響曲第2番 二長調

指揮 依田浩

共演 ますほジュニアクワイア

平成30年 **6月3日** (日) 開場 13:30
開演 14:00

富士川町 ますほ文化ホール

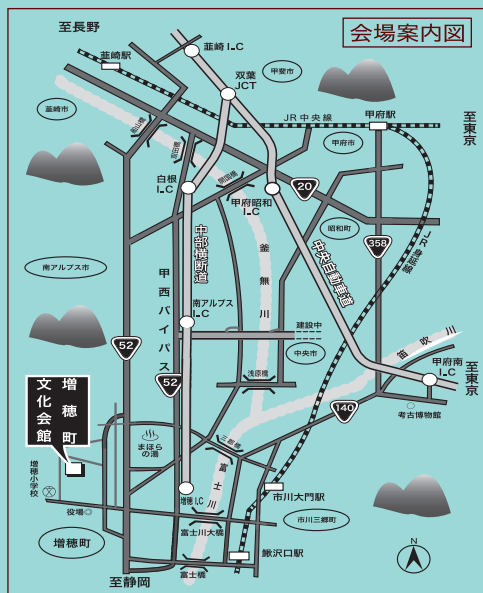
入場料
前売り 大人 700円 学生 300円
当日 大人 1,000円 学生 500円

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

お問い合わせ <http://web.fc2.com/>

チケット取扱所
桃源文化会館 055-284-3411
コラーニー文化ホール 055-228-9131
ますほ文化ホール 0556-22-8811
岡島友の会 055-232-2111
山交友の会 055-232-8166
内藤楽器 055-235-7110

主催 南アルプス桃源交響楽団
共催 一般財団法人桃源文化振興協会
後援 南アルプス市教育委員会 山梨日日新聞社 山梨放送 テレビ山梨 エフエム富士 エフエム甲府
白根ケーブルネットワーク株式会社 富士川町教育委員会



指揮／依田 浩



山梨県生まれ。国立音楽大学教育音楽科第1類卒業。

ピアノを故・高田耿介、小西恵子、声楽を藤巻信夫、田口興輔、指揮法を黒岩英臣、合唱指揮を故・大庭三郎の各氏に師事。大学在学中から、器楽・声楽の伴奏やピアノデュオなどのアンサンブルに興味を持つ。卒業後山梨に戻り、若手中心のグループで様々なコンサートを企画しながらピアニストとして演奏活動を活発に行ない、以来リート（ドイツ歌曲）や日本歌曲を中心に各国の歌曲を中心とするコンサートをシリーズで開催してきた。また、オペラの公演に携わったことから松井和彦氏（指揮者・作曲家）のもとでコレペティールの研鑽を積み、室内オペラグループ<くるこの会>や国立（くにたち）オペラ、静岡室内歌劇場などを指揮。

現在、東京・山梨を中心に子どもから大人まで多くの合唱団を指揮・指導するとともに、各地の学校や団体などから講師や指導者として招かれている。

南アルプス桃源交響楽団では、2005～2008年、2014年の定期演奏会を指揮。

JCDA日本合唱指揮者協会会員。山梨県芸術文化協会会員。

21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」メンバー。

ますほジュニアクワイア（音楽監督：依田浩 指導スタッフ：雨宮由佳（ピアニスト） 根岸香苗（ヴォイストレーナー））

2002年3月創団。年齢も学区も異なる子どもたちが、日常の生活では得られない人間関係を築き、様々な価値観と出会いながら音楽を楽しんでいる。これまで、無伴奏作品や合唱とピアノのための作品にとどまらず、弦楽アンサンブルやオルガン、リコーダーとの共演など、ヴァリエティに富んだ歌声を聴かせてきた。また、町内福祉施設や保育所での演奏、他団体との交流コンサートなどを企画するほか、地元の日蓮宗寺院、寿命山昌福寺の御会式において舞台作品の初演に携わるなど、積極的に活動の幅を広げている。



2016年、いつまでも歌い継ぐ「うた」として「キセキの星」を委嘱。

緑に囲まれた「富士川町ますほ文化ホール」を拠点に、町とホールの大きな協力のもと《合唱音楽の響くホールと町づくり》をめざし活動中。

共演作品について
竹内一樹

「プレイ・スペース」作曲者 竹内一樹氏より

プレイ・スペースは、3年計画、3回のパフォーマンスで構成、作曲しているシアターピースの作品で、第3部を今秋初演予定。「日蓮さん」(1222-1282)の生涯を基軸に、彼が残した言葉に音をつけたもの、わらべうた、声明を混ぜた作品となっている。

プレイには、「play(遊ぶ)」、「pray(祈る)」、「prey(餌食)」、スペースには、「空間」、「宇宙」という意味を含ませ、一つの空間が、遊ぶ、祈る、また儀式的場となるよう、また、宇宙や違った空間にトリップする、という想いで音を紡いでいる。

今回、第1部、第2部で作曲した旋律を基盤にオーケストラと児童合唱のために編成し直した。

「キセキの星」※ますほジュニアクワイア2016ニューイヤーコンサート プログラムより転載

ますほジュニアクワイアの団歌のような曲が欲しい、ということで、今回の「キセキの星」を作曲しました。

作詩、作曲するにあたって、ここでの星空があまりにも綺麗だったこと、お父さん、お母さんと話した会話、子どもたちの歌声、頂いた手紙、依田先生、雨宮先生に宛てた寄せ書きなど、様々なことに影響を受けて書くことが出来ました。

そして、キセキには3つの意味を込めました。ここで一緒に音楽が出来ることの奇跡。ますほジュニアクワイアが辿ってきた軌跡。一人一人が輝く、という意味での輝石、です。子どもたちが大人になって、ふと夜空を見上げた時にこの曲を口ずさんでくれたら、作曲者としてこれ以上嬉しいことはありません。